

寄居町の今とこれから 一般質問

6月定例会の一般質問には、6名の議員が登壇しました。
質問項目と内容(抜粋)をお知らせします。

この項目について町の考えを聞きました

財政

寄居町の財政状況(峯岸議員) → P. 4

農業・観光

農林業・商業・工業の振興(大平議員) → P. 5
観光・ブランドタウンの実現(峯岸議員)

防災

防災対策の取り組み(佐藤議員) → P. 5
防災に強いまちづくり(田母神議員) → P. 6
被災地への支援等及び寄居町の防災(大平議員)

福祉・健康

重度心身障害者医療費(鈴木議員) → P. 6
AED設置拡大及び講習の推進(鈴木議員)
かんぼの宿日帰り入浴券補助(田母神議員)

その他

全国育樹祭(稲山議員) → P. 7
大規模太陽光発電所誘致(稲山議員)
緑のカーテンの取り組み(佐藤議員)
公営テニスコートの設置(田母神議員)

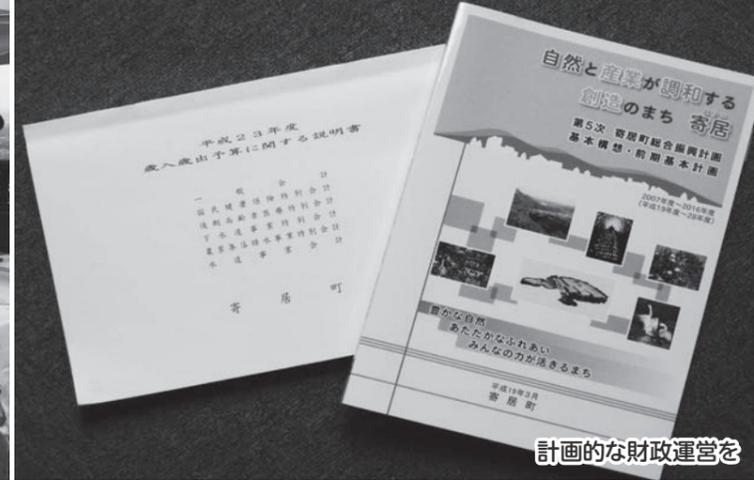
※1人1項目を要約して掲載しています。
全文は、会議録をごらんください。
会議録は町立図書館で読むことができます。



被災地(大船渡市)



エキナセア等の特産品を生かして



計画的な財政運営を

防災備蓄倉庫、拡充する考えは



さとうりみ
佐藤理美
議員

答弁→ 必要に応じて拡充を図っていきます

問 甚大な被害が出た3月11日の東日本大震災から約3ヵ月を迎えようとしています。東日本大震災が歴史に残る災害であることは言うまでもありません。「災害に強いまちづくり」では、町民と行政の連携のもとに「自助」「公助」「共助」という基本方針を確立し、平常時から防災意識を1人1人がしっかりと持つことであると考えます。そこで、今後の防災備蓄倉庫拡充についての考えを伺います。

答 備蓄物資の定期的な更新や見直しを図るとともに、企業との協定内容等を総合的に検討して、必要に応じて防災備蓄倉庫の拡充を図っていききたいと考えています。

問 「防災メール」配信の考えについて伺います。

答 災害情報、行政情報を伝達する上で、有効な手段の一つとして認識していますので、今後検討をしていきたいと考えています。

問 「寄居町防災読本」の見直しの考えを伺います。

答 平成20年8月の発行以降、内容が変更となったことや新たな掲載内容を精査し、適切に見直しを図っていききたいと考えています。

かわら崩落の住宅にブルーシートを

問 屋根がかわら崩落の住宅に対し、ブルーシート配布の考えについて伺います。

答 今後、今回の震災を教訓に、被災者支援に関する詳細なマニュアルを作成する必要があると考えています。

農商工連携、観光農業支援策は



おおひらひさゆき
大平久幸
議員

答弁→ 地元農産物の消費拡大や地産地消を支援しています

問 豊かな自然と歴史を生かして、町民からも町外の人たちからも「住んでよし」「訪れてよし」と評価される魅力あふれた町に育てていくためには、農林業・商業・工業の連携が大切で、農商工連携の強化が一層必要と考えます。そこで農林業振興で6次産業(農業や水産業など第1次産業に携わる人が、第2次産業(食品加工)・第3次産業(流通・販売)まで主体的に関わる(複合化する)ことで、第1次産業を活性化させようという考え方)という経営の取り組み、観光農業の支援について伺います。

答 現在、農産物加工施設の設計・特産品開発・地元農産物の消費拡大や地産地消を支援しています。観光農業では、滞在型農業アミューズメント施設の研究もしていきたいと思えます。

問 商業振興でご当地キャラクターの活用について伺います。

答 商工会の乙姫ちゃんの衣装製作費を補助しました。今後も、ほかのキャラクター誕生の経緯を踏まえ、必要に応じて活用施策を支援したいと考えています。

資源循環工場第Ⅱ期事業の整備は

問 工業振興のホンダ工場、資源循環工場第Ⅱ期事業の整備について伺います。

答 ホンダは2013年に工場稼働が発表され、工場周辺のインフラ整備等は終了。(仮称)寄居・小川地区道路改良事業の推進、第Ⅱ期事業については積極的に企業誘致活動を行っています。

農商工連携 防災対策

☞ 寄居町のご当地(イメージ)キャラクター…乙姫ちゃん(寄居町商工会)、キナン(寄居特産ハーブ・エキナセア)、キッジー[KIZZY](町立図書館)、カワノロウ(川の博物館)

寄居町の財政は大丈夫か



みねざしかつあき
峯岸克明
議員

答弁→ 収支バランスの取れた健全なものと考えています

問 今の事業を継続していった場合、町の財政は大丈夫なんでしょうか。また、事業の継続は可能なのでしょうか。歳入・歳出、今後数年の見通しを伺います。

答 町の財政運営は、一定の財政フレームの中で優先的に取り組む事業を精査選択するなど、限られた財源の有効活用はもとより、財政指標等から見ても収支バランスのとれた健全なものであると考えています。

今後については、2013年のホンダ寄居新工場稼働に大きな期待を寄せているところですが、国・県の政策を今後の町の政策展開に有効に取り入れながら、引き続き経常経費の節減に努め、規律ある財政運営を堅持していきます。

町政のあり方、施策の見直しは

問 今後、急速に進む高齢人口の増加や生産年齢人口の減少を受け、町の財政はかなり厳しい状況になるのではないのでしょうか。そこで町政のあり方、施策を大きく見直す意思はあるか伺います。

答 今後、高齢人口の増加や生産年齢人口の減少により、町の財政も少なからず影響が出てくると思われます。人口減少を食い止める施策等を積極的に行うことにより、諸施策を展開していきたいと考えています。

町の財政

☞ 生産年齢人口…年齢別人口のうち労働力の中核をなす15歳以上65歳未満の人口層。これに対し15歳未満の年少人口と、65歳以上の老年人口を合わせたものを被扶養人口といいます。